

“ツール” 感覚の手軽さで確実なレベル検出を可能にしました



通常インキ壺の中に溜めるインキは、紙面の着色部によって2分割から4分割にされます。分割の方法は、“セパレータブロック”を壺の中に入れて行っています。当“センサブロック”は、そのセパレータブロックの隣に接地し、マグネットキャッチャーと新しい発想による接触式インキセンサと組み合わせて使用します。

1 ch 静電式レベルセンサ (CAPASEN)

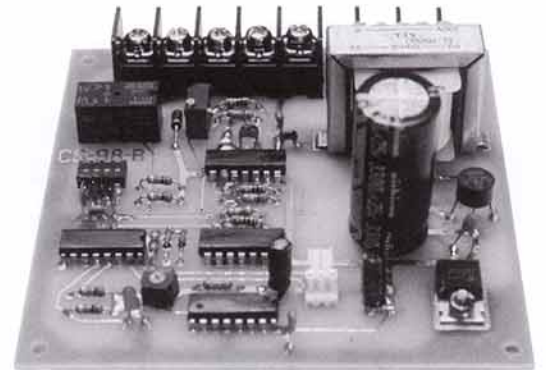


プラグイン式



プローブ

新しい発想による静電容量式、接触インキセンサ、従来のチャージ式ブリッジ式における欠点を解決させた画期的電子回路をもつ変換器です。



基板式

静電容量式 (セパレート型)

振動のある場所、感度調整のしにくい場所に御使用下さい。

〔標準仕様〕

- 電源電圧 AC 100 / 200 V ± 10 % 50 / 60 Hz
- 消費電力 約 3 VA
- 動作感度 0.5 ~ 300 pF
- 遅延時間 0 ~ 20 秒 (オンディレイ)
- 出力接点定格 AC 230 V 3 A 抵抗負荷
- 使用周囲温度 - 10 °C ~ + 70 °C
- 検出器構造 防滴型
- 変換器構造 屋内接地型

〔標準〕

- 検出器 WL-S 2 型
- 重量 : 約 1 kg

